

- 問1 鎌倉幕府の三代執権である北条泰時が、御成敗式目を制定した目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 徳政令を發布して、生活に困窮した御家人の借金を帳消しにして、幕府への忠誠心を取り戻すため | 2. 律令に基づいた裁判を行う朝廷の権威を否定し、すべての日本人に幕府の法を適用するため | 3. 元（モンゴル帝国）の来航に備え、全国の武士を統制して沿岸部の警備を強化するため | 4. 承久の乱の後に増大した領地争いの裁判を、武家社会の慣習に基づき公平に行うため |
|---|--|--|---|
- 問2 鎌倉時代初期、相次ぐ飢饉や火災、戦乱といった社会の混乱を背景に、世の中のすべては移り変わるという「無常観」を綴った随筆として適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 方丈記 | 2. 徒然草 | 3. 古今和歌集 | 4. 枕草子 |
|--------|--------|----------|--------|
- 問3 1297年に出された「永仁の徳政令」が発令された歴史的な背景について、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 大規模な飢饉が発生し、幕府が米の価格を安定させるために商人の独占を禁じ、流通を制限したため。 | 2. 室町幕府の権威が低下し、各地で農民が団結して年貢の免除や借金の帳消しを求める土一揆が頻発したため。 | 3. 元寇で多大な軍費を負担した御家人に対し、防衛戦であったために十分な恩賞が与えられず、生活が困窮したため。 | 4. 江戸幕府が旗本や御家人の困窮を救うために、札差（金融業者）に対して借金の破棄を命じたため。 |
|---|--|---|--|
- 問4 鎌倉時代末期、生活が困窮した武士などが幕府や荘園領主の支配に従わなくなり、武装して年貢を奪うなどの抵抗活動を行うようになりました。このような、既存の支配体制を乱した集団を当時の領主側は何と呼びましたか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 悪党 | 2. 公領 | 3. 蝦夷 | 4. 御家人 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問5 鎌倉時代の文化の特徴である「平家物語」の普及について、当時の社会背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 貴族が自らの特権を維持するために、平氏の実験を教訓として記録し、秘密裏に共有した。 | 2. 武士の台頭により戦いへの関心が高まる中、語り手によって劇的に語られる物語が庶民の共感を呼んだ。 | 3. 印刷技術が飛躍的に向上したことで、大量の書籍が安価に販売され、農村部まで流通した。 | 4. 遣唐使によってもたらされた大陸の最新文学が、そのままの形で武士の間で流行した。 |
|--|--|--|--|
- 問6 鎌倉時代、日本各地を巡り歩きながら念仏の札を配り、音楽やリズムに合わせて念仏を唱える「踊念仏」によって、時宗（じしゅう）を広めた人物は誰ですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 日蓮 | 2. 親鸞 | 3. 一遍 | 4. 栄西 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 東大寺南大門の内部に安置されている、鎌倉時代の彫刻を代表する作品とその制作者の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 行基らの勧進によってつくられた東大寺大仏 | 2. 運慶や快慶らによってつくられた金剛力士像 | 3. 鑑真（がんじん）の弟子たちによってつくられた鑑真和上像 | 4. 定朝（じょうちょう）によってつくられた阿弥陀如来像 |
|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|------------------------------|
- 問8 鎌倉時代に普及した「禅宗」の特色について、それ以前に広まっていた「浄土教」の考え方と比較した説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 阿弥陀如来の救いにすがるのはなく、厳しい修行を通じて自らの力で悟りを開こうとした。 | 2. 念仏を唱えることよりも、経典を書き写す写経によって功德を積むことを重視した。 | 3. 極楽浄土への往生を願うのではなく、現世での利益を得るための祈祷を主な修行とした。 | 4. 特定の仏を信仰の対象とせず、日本古来の神々を鎮めるための儀式を重んじた。 |
|--|---|---|---|
- 問9 「モンゴル帝国の元への改称」、「ヴァスコ・ダ・ガマのインド到達」、「イギリスでの権利の章典制定」という3つの歴史的出来事のうち、日本の鎌倉時代に起こった出来事として適切なものを選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 1. ヴァスコ・ダ・ガマが喜望峯を回ってインドに到達した。 | 2. マゼランの船隊が世界周航を成し遂げた。 | 3. モンゴル帝国が国号を元と改め、都を大都に移した。 | 4. イギリス（イングランド）で名誉革命が起こり、権利の章典が制定された。 |
|-------------------------------|------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
- 問10 鎌倉時代に制定された「御成敗式目（貞永式目）」について、その制定の背景や内容として正しい説明はどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 執権の北条泰時が、御家人たちの間で増えていた領地争いの裁判を、武士の慣習に基づいて公平に裁くために定めた。 | 2. 聖徳太子が、官吏としての心得を説くとともに、仏教を敬い天皇の命令に従うことを求めて定めた。 | 3. 江戸幕府の将軍が、全国の大名を統制するために、城の修理の制限や参勤交代の義務などを定めた。 | 4. 徳川吉宗が、裁判の基準を統一して能率的に処理するために、過去の判例などをまとめた法律として定めた。 |
|--|--|--|--|
- 問11 13世紀後半、元（モンゴル帝国）が二度にわたって日本に侵攻した際、朝鮮半島で元に服属し、軍船の建造や兵力の提供を命じられた国を選びなさい。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 新羅 | 2. 高麗 | 3. 百濟 | 4. 李氏朝鮮 |
|-------|-------|-------|---------|
- 問12 鎌倉時代の政治体制において、「執権」という役職が果たした役割の説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 将軍に代わって幕府の政治の実権を握り、北条氏が世襲して政務を統括した。 | 2. 室町幕府において将軍を補佐し、足利一族の有力者が就任して政治を支えた。 | 3. 地方の軍事や警察の役割を担い、幕府から各国に派遣された役職である。 | 4. 江戸幕府において将軍の直属として、臨時に最高職に就き国政を左右した。 |
|--|--|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問13 鎌倉時代において、栄西や道元が中国（宋）から伝えた禅宗が、武士の政権である幕府に厚く保護された理由として、その教理の特徴から考えられる説明はどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 国分寺を建立して国を守るという思想が、全国を支配する幕府の権威付けに利用されたため。 | 2. 厳しい座禅や修行を通じて自己を鍛錬する姿勢が、武士の精神修養に適していたため。 | 3. 念仏を唱えるだけで救われるという教えが、多忙な武士の生活に合致したため。 | 4. 貴族のような華やかな儀式を重んじる作法が、武家社会の教養として取り入れられたため。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 承久の乱の後に増大した領地争いの裁判を、武家社会の慣習に基づき公平に行うため	北条泰時は、幕府の力が強まる中で御家人たちの権利関係を明確にし、身分に関わらず公正な裁判が行われる仕組みを整える必要がありました。それまで成文化されていなかった武士の道徳や慣習を法としてまとめることで、御家人の信頼を得て幕府の安定を図る目的がありました。なお、この法は当初、幕府の勢力圏内（御家人や幕府領）にのみ適用されるものでした。
問2	答え 1 方丈記	この作品は鴨長明によって執筆されました。平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての激動の時代において、自然災害や源平の争乱を目の当たりにした著者が、世の無常さと執着を捨てた生活を表現した中世随筆の先駆けです。
問3	答え 3 元寇で多大な軍費を負担した御家人に対し、防衛戦であったために十分な恩賞が与えられず、生活が困窮したため。	元寇（蒙古襲来）において御家人は自費で戦いましたが、侵略を防ぐための戦いであったため、幕府が没収して恩賞として分け与える土地が不足していました。恩賞を得られないまま借金に苦しむ御家人が続出したため、幕府は彼らの没落を防ぎ、軍役を維持させる目的でこの法令を出しました。
問4	答え 1 悪党	鎌倉時代後半、分割相続による領地の細分化や、元寇（モンゴル襲来）後の恩賞不足によって、多くの武士の生活が苦しくなりました。その中で、幕府や荘園領主の命令に従わず、実力で年貢を奪ったり武装して反抗したりする勢力が現れました。領主側は彼らを既存の秩序を破る「悪」の集団と見なしてこのように呼びました。
問5	答え 2 武士の台頭により戦いへの関心が高まる中、語り手によって劇的に語られる物語が庶民の共感と呼んだ。	鎌倉時代は政治の実権が貴族から武士へと移り変わった時期であり、文化も力強く、庶民的で写実的な傾向を強めました。平家物語は単なる平氏の記録ではなく、武士の生き様や戦いの虚しさを描き出しており、琵琶法師による弾き語りという形態をとることで、娯楽を求める庶民や地方の武士にも広く受け入れられる土壌がありました。
問6	答え 3 一遍	鎌倉時代に誕生した新仏教の一つである時宗の開祖、一遍についての問いです。彼は特定の寺院にとどまらず、全国を旅して民衆に直接教えを説く「遊行（ゆぎょう）」というスタイルをとりました。念仏を唱えながら集団で踊る「踊念仏」は、当時の人々に熱狂的に受け入れられ、教えが急速に普及する大きな要因となりました。
問7	答え 2 運慶や快慶らによってつくられた金剛力士像	東大寺南大門の左右には、門を守護する一対の金剛力士像（仁王像）が安置されています。この像は、運慶や快慶を中心とする彫刻家集団（慶派）によって制作されました。浮き出た血管や筋肉の表現など、写実的で躍動感あふれる姿は、当時の武士の気風を反映した鎌倉文化の象徴といえます。阿弥陀如来像（定朝）は平安時代の国風文化、東大寺大仏や鑑真和上像は奈良時代の天平文化を代表するものです。
問8	答え 1 阿弥陀如来の救いにすがるのはではなく、厳しい修行を通じて自らの力で悟りを開こうとした。	浄土教が阿弥陀如来という他者の力に頼る「他力」の教えであるのに対し、禅宗は座禅などの修行によって自分自身の力で悟りを得ようとする「自力」の教えであることが大きな違いです。この精神的な厳しさが、命がけで戦う当時の武士たちの支持を集める要因となりました。
問9	答え 3 モンゴル帝国が国号を元と改め、都を大都に移した。	フビライ・ハンによる元の成立は1271年の出来事であり、日本では鎌倉時代の北条時宗が執権を務めていた時期にあたります。これに対し、ヴァスコ・ダ・ガマのインド到達は15世紀末（室町時代）、イギリスの権利の章典制定は17世紀末（江戸時代）の出来事であり、それぞれ時代が異なります。
問10	答え 1 執権の北条泰時が、御家人たちの間で増えていた領地争いの裁判を、武士の慣習に基づいて公平に裁くために定めた。	鎌倉時代初期の武士の間では、土地の境界や所有権をめぐる紛争が絶えませんでした。北条泰時は、それまでの貴族の法律（律令）ではなく、武士の実情に合わせた裁判基準を成文化することで、幕府の裁判に対する信頼を高めようとした。この法律は、後の室町幕府や戦国大名の分国法にも大きな影響を与えました。
問11	答え 2 高麗	朝鮮半島の高麗は、モンゴル帝国の激しい攻撃を受けて服従し、その後は元の日本侵攻に協力させられました。元寇の際には、高麗の軍隊も元軍とともに日本へ渡り、北九州などで戦いました。新羅や百済はそれ以前の時代の国家であり、李氏朝鮮は元の後の時代に建国された国家です。
問12	答え 1 将軍に代わって幕府の政治の実権を握り、北条氏が世襲して政務を統括した。	鎌倉幕府では源氏の将軍が3代で途絶えた後、北条政子の実家である北条氏が政治の中心となりました。北条氏は自ら将軍になるのではなく、将軍を名目上の存在とし、自らは執権として幕政を動かす「執権政治」を行いました。なお、選沢肢にある「管領」は室町幕府、「大老」は江戸幕府、「守護」は地方行政の役職であり、執権とは役割や時代が異なります。
問13	答え 2 厳しい座禅や修行を通じて自己を鍛錬する姿勢が、武士の精神修養に適していたため。	禅宗（臨済宗の栄西、曹洞宗の道元）は、座禅によって自ら悟りを開くことを重視しました。この自分を厳しく律し、精神を統一する修行のあり方が、生死をかけて戦う当時の武士の気風や道徳観と一致したため、鎌倉幕府やのちの室町幕府によって手厚く保護されました。「念仏を唱えるだけ」というのは浄土宗や浄土真宗の特徴であり、禅宗とは異なります。

- 問1 御成敗式目が、のちに室町時代などで頻発した「徳政令」と異なり、制定された当初の段階では持っていなかった特徴として適切なものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|------------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 犯罪を犯した武士に対する処罰の基準についての定め | 2. 地頭が荘園領主に対して果たすべき義務についての定め | 3. 武士が領地を統治する際の手続きに関する規定 | 4. 借金を強制的に帳消しにするような棄捐（きえん）の規定 |
|-----------------------------|------------------------------|--------------------------|-------------------------------|
- 問2 一遍の生涯を描いた絵巻物などの資料には、僧侶や民衆が太鼓などの拍子に合わせてステップを踏みながら、阿弥陀仏の名を唱えて舞い踊る様子が記録されています。時宗を象徴するこの布教活動を何と呼びますか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-------|---------|
| 1. 踊り念仏 | 2. 題目の唱和 | 3. 座禅 | 4. 加持祈祷 |
|---------|----------|-------|---------|
- 問3 鎌倉時代に興った新しい仏教の一つで、日蓮が説いた教えについて述べたものとして正しいものはどれですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|---------------------------|------------------------------|
| 1. 法華経こそが最高の教えでありとし、題目を唱えることを説いた。 | 2. 阿弥陀如来の救いを信じ、念仏を唱えることが最も大切だと説いた。 | 3. 座禅を組むことで自ら悟りを開くことを説いた。 | 4. 全国に国分寺を建て、国家の平和を祈ることを説いた。 |
|-----------------------------------|------------------------------------|---------------------------|------------------------------|
- 問4 13世紀に起こった「元寇（モンゴル帝国の襲来）」の背景と、当時の幕府の対応について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 鎌倉幕府は元の要求を受け入れて一時的に服属したが、足利尊氏が元軍の拠点となっていた博多を奪還したことで、日本の独立を維持した。 | 2. 執権の北条泰時が大陸との交易を制限したため、これに反発した元軍が襲来したが、幕府は武力ではなく外交交渉によって紛争を解決した。 | 3. 執権の北条時宗は元軍の襲来を予測して大陸へ先制攻撃を仕掛け、大陸沿岸部の一部を領土として獲得することで幕府の経済基盤を強化した。 | 4. 執権の北条時宗が大陸を統治した元からの服属要求を拒否したため、二度の襲来を招くことになったが、九州の沿岸に石築地を築くなどして防戦した。 |
|--|--|---|---|
- 問5 鎌倉時代初期、朝廷の権威を回復しようと努めた後鳥羽上皇の命により、藤原定家らが編集した勅撰和歌集はどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|--------|--------|
| 1. 古今和歌集 | 2. 新古今和歌集 | 3. 山家集 | 4. 万葉集 |
|----------|-----------|--------|--------|
- 問6 元寇の後、鎌倉幕府の支配力が急速に弱まり、衰退に向かった理由として、当時の社会状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 防衛戦であり新たな領地を獲得できなかったため、戦った武士に十分な恩賞を与えることができなかった。 | 2. 元との和平交渉のために、幕府が多額の賠償金を支払う約束をした。 | 3. 異国船打払令を出し、外国との貿易を一切禁止したことで商業が衰退した。 | 4. 元軍の優れた武器や戦術を導入しようとして、幕府の財政が破綻した。 |
|---|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
- 問7 鎌倉幕府の組織図において、執権の管理下に置かれ、侍所・政所・問注所といった中央機関と並んで重要視された地方機関があります。この機関の名称と、その設置の契機となった出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|----------------------|------------------------|------------------------------|
| 1. 名称：鎌倉府、出来事：室町幕府の成立 | 2. 名称：六波羅探題、出来事：承久の乱 | 3. 名称：京都所司代、出来事：関ヶ原の戦い | 4. 名称：鎮西探題、出来事：元寇（文永の役・弘安の役） |
|-----------------------|----------------------|------------------------|------------------------------|
- 問8 13世紀後半、元（モンゴル帝国）が二度にわたって日本に侵攻した際、朝鮮半島で元に服属し、軍船の建造や兵力の提供を命じられた国を選びなさい。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 百済 | 2. 新羅 | 3. 李氏朝鮮 | 4. 高麗 |
|-------|-------|---------|-------|
- 問9 鎌倉幕府が源頼朝の時代に全国に設置した役職のうち、国ごとに置かれ、主に軍事や警察の役割を担った役職を何というか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 執権 | 2. 地頭 | 3. 守護 | 4. 検非違使 |
|-------|-------|-------|---------|
- 問10 13世紀、モンゴル帝国の皇帝が国号を「元」と定めて日本に従属を求める使者を送りましたが、当時の鎌倉幕府の執権はこれを拒絶する姿勢を貫きました。この時の執権として正しい人物を選んでください。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 北条政子 | 2. 足利尊氏 | 3. 北条時宗 | 4. チンギス・ハン |
|---------|---------|---------|------------|
- 問11 12世紀後半の平氏による政権期から鎌倉時代にかけて、日本国内では貨幣経済が急速に浸透し始めました。当時、日本国内で大量に流通していた銅銭の主な由来について述べたものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2023年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 鉄砲の伝来とともに、ヨーロッパの商人からキリスト教の布教とともに譲渡された。 | 2. 日本の商人が中国の宋と貿易を行ったことにより、国内に大量に持ち込まれた。 | 3. 江戸幕府が国内の経済を安定させるために、独自に鑄造した寛永通宝が広まった。 | 4. 日本国内の鉱山から採掘された銀を、室町幕府が鑄造して全国に配布した。 |
|---|---|--|---------------------------------------|
- 問12 マルコ・ポーロが著した『世界の記述（東方見聞録）』の中で、日本は「黄金の国ジパング」として紹介されています。この記述が後の歴史に与えた影響として、最も適切な説明を選んでください。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 日本との直接的な交易を求めて、スペインが種子島に鉄砲を伝える直接のきっかけとなった。 | 2. モンゴル帝国が日本への軍事侵攻（元寇）を決定する、最大の判断材料となった。 | 3. 東洋の富に憧れたコロンブスが、西回りの航路でアジアを目指す動機の一つとなった。 | 4. ヨーロッパ諸国がキリスト教を広めるために、日本を最初の布教地に選ぶ理由となった。 |
|---|--|--|---|
- 問13 大モンゴル国の皇帝から送られた国書への対応に迫られていた時期の鎌倉幕府の状況として、当時の年表の内容と合致する説明はどれか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 元寇の軍役負担で借金に苦しむ御家人を救うため、幕府が「永仁の徳政令」を発布した1297年以降の出来事であった。 | 2. 後醍醐天皇や足利尊氏らの動きによって、鎌倉幕府が滅亡に向かっていった1333年直前の出来事であった。 | 3. 北条泰時が武士の裁判基準として御成敗式目を制定した1232年から、約40年ほど経過した時期であった。 | 4. 源頼朝が諸国に守護・地頭を設置し、鎌倉幕府が成立して間もない1185年頃の出来事であった。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 借金を強制的に帳消しにするような棄捐（きえん）の規定	御成敗式目はあくまで「公平な裁判」の基準を定めることを主眼としており、当時の武士社会の道徳や慣習を法制化したものです。生活に困窮した者の借金を一方的に帳消しにするような徳政令の性質は、制定当初の式目には含まれていませんでした。後世の徳政令は、経済的に困窮した武士の救済という特定の目的で行われた一時的な措置であり、司法の基本原則を定めた式目とは性質が異なります。
問2	答え 1 踊り念仏	一遍が始めた「踊り念仏」は、念仏を唱える喜びを身体全体で表現するものであり、集団で熱狂的に踊る姿は当時の人々に大きな衝撃と共感を与えました。この手法は、後の盆踊りなどの民俗芸能の成立にも大きな影響を与えたと言われています。選択肢にある「座禅」は曹洞宗や臨済宗（禅宗）、「題目の唱和」は日蓮宗（法華宗）の特徴です。
問3	答え 1 法華経こそが最高の教えであるとし、題目を唱えることを説いた。	鎌倉新仏教の一つである日蓮宗（法華宗）は、日蓮によって開かれました。彼は他の宗派を厳しく批判し、釈迦の説いた「法華経（ほけきょう）」こそが真実の教えであると主張しました。修行として「南無妙法蓮華経」という題目（だいもく）を唱えることで、苦難の多い社会においても人々が救われると説いたのが大きな特徴です。
問4	答え 4 執権の北条時宗が大陸を統治した元からの服属要求を拒否したため、二度の襲来を招くことになったが、九州の沿岸に石築地を築くなどして防戦した。	大陸を統治した元（モンゴル帝国）のフビライ・ハンは日本に服属を求めましたが、執権の北条時宗はこれを拒否しました。これにより文永の役、弘安の役という二度の侵攻を受けましたが、幕府は博多湾沿岸に「防塁（石築地）」を築くなどの準備を進め、集団戦法やつば（火器）を用いる元軍に対し、御家人らを動員して防戦を指揮しました。この戦いは防衛戦であったため、勝利しても新たな領土を得られず、後の恩賞問題が幕府衰退のきっかけとなりました。
問5	答え 2 新古今和歌集	鎌倉時代初期に成立したこの和歌集は、後鳥羽上皇の強い意志によって編纂されました。藤原定家や、漂泊の歌人として知られる西行などの優れた歌人の作品が多く収められており、繊細で華麗な歌風が特徴です。奈良時代の『万葉集』、平安時代の『古今和歌集』と並び、日本の古典文学を代表する作品の一つです。
問6	答え 1 防衛戦であり新たな領地を獲得できなかったため、戦った武士に十分な恩賞を与えることができなかった。	元寇は外国からの侵略を退ける「防衛戦」であったため、勝利しても国内の戦いのように没収した領地を恩賞として分配することができませんでした。多額の軍費を自己負担して戦った御家人たちは、恩賞が得られないことで困窮し、幕府に対する強い不満を持つようになりました。これが幕府の統制力を弱める大きな要因となりました。
問7	答え 2 名称：六波羅探題、出来事：承久の乱	六波羅探題は、鎌倉幕府の職制において執権（北条氏が世襲した役職）の下に置かれた非常に重要な地方機関です。1221年の承久の乱に勝利した結果、それまで上皇の勢力下にあった西国の支配権を幕府が握ることになり、その統治のために設置されました。鎮西探題は九州の防衛、京都所司代は江戸幕府の機関、鎌倉府は室町幕府の機関である点に注意してください。
問8	答え 4 高麗	朝鮮半島の高麗は、モンゴル帝国の激しい攻撃を受けて服従し、その後は元の日本侵攻に協力させられました。元寇の際には、高麗の軍隊も元軍とともに日本へ渡り、北九州などで戦いました。新羅や百済はそれ以前の時代の国家であり、李氏朝鮮は元の後の時代に建国された国家です。
問9	答え 3 守護	源頼朝が1185年に朝廷に認めさせて設置した役職です。各国の武士を統率して、京都の御所の警護（京都大番役の催促）や、謀反人・殺人犯の逮捕といった軍事・警察的な任務にあたりました。これに対し、荘園や公領ごとに置かれて土地の管理や年貢の徴収を行ったのは地頭です。
問10	答え 3 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権であった北条時宗は、元の皇帝フビライ・ハンからの通告を無視、あるいは拒否し、九州沿岸の警備を強化して対決姿勢を鮮明にしました。これが1274年の「文永の役」へとつながります。チンギス・ハンはモンゴル帝国の初代皇帝であり、足利尊氏はのちに室町幕府を開く人物です。
問11	答え 2 日本の商人が中国の宋と貿易を行ったことにより、国内に大量に持ち込まれた。	平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進したことなどをきっかけに、中国の宋で鑄造された銅銭（宋銭）が日本に大量に流入しました。当時の日本国内では貨幣の鑄造が衰退していたため、これらの輸入された宋銭が、年貢の代銭納や市場での取引といった国内の経済活動を支える主要な通貨として広く流通することとなりました。
問12	答え 3 東洋の富に憧れたコロンブスが、西回りの航路でアジアを目指す動機の一つとなった。	「屋根や床が黄金でできている」という誇張を含んだ日本の紹介は、ヨーロッパの人々の探検欲を強く刺激しました。コロンブスはこの記述を信じ、大西洋を渡れば黄金の国ジパングや中国に到達できると考え、航海に出たことが知られています。
問13	答え 3 北条泰時が武士の裁判基準として御成敗式目を制定した1232年から、約40年ほど経過した時期であった。	フビライ・ハンの最初の国書が日本に届いたのは1268年であり、これは1232年の御成敗式目制定から約36年後のことです。この時期は鎌倉時代の中期にあたります。1185年は幕府成立期、1297年の徳政令は元寇による恩賞問題が深刻化した後のこと、1333年は幕府滅亡の年であるため、いずれも国書が届いた時期（元寇の前兆）とは異なります。

- 問1 1221年、鎌倉幕府の混乱に乗じて朝廷の権力を取り戻そうとした後鳥羽上皇が、幕府を倒すために兵を挙げた出来事を何とといいますか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 承久の乱 2. 平治の乱 3. 応仁の乱 4. 保元の乱
- 問2 鎌倉幕府において、源頼朝の死後に北条氏が世襲した、将軍を補佐して幕政を統括する最高職の名称として正しいものはどれか。 (2023年 石川県公立入試 類似)
1. 連署 2. 管領 3. 六波羅探題 4. 執権
- 問3 鎌倉時代において、将軍が御家人の先祖伝来の所領を保障したり、手柄に対して新たな土地を与えたりする一方で、御家人が軍役や京都・鎌倉の警備といった義務を果たすことで成立していた主従関係を何とといいますか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 寄進地系荘園 2. 守護・地頭の設置 3. 御恩と奉公 4. 封建社会の身分制
- 問4 鎌倉時代に起こった承久の乱の背景や経過について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. 後醍醐天皇が幕府を倒そうと兵を挙げ、足利尊氏や新田義貞の協力により、日本では貴族を中心に優雅な国風文化が全盛期を迎えた。
2. 源頼朝の死後、北条氏が実権を握ったことに反発した平氏の残党が、西国で反乱を起こして幕府軍と戦った。
3. 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵を挙げたが、北条政子の呼びかけに団結した御家人らの大軍によって幕府側が勝利した。
4. 将軍の跡継ぎ問題をきっかけに守護大名が二つの勢力に分かれて争い、京都を中心に11年に及ぶ戦乱が続いた。
- 問5 運慶や快慶によって東大寺南大門の金剛力士像が制作された13世紀前半、アジア大陸では新たな勢力が急速に台頭していました。当時の日本文化の背景と国際情勢の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 大陸では唐が滅亡して混乱が続いており、日本では貴族を中心に優雅な国風文化が全盛期を迎えた。
2. 大陸では秦の始皇帝が統一を果たしており、日本ではそれに対抗するために写実的な彫刻が作られた。
3. 大陸では宗教改革による対立が激化しており、日本では阿弥陀如来への信仰が武士の間に浸透した。
4. 大陸ではモンゴル帝国が勢力を拡大しており、日本では武士の好みに合った写実的で力強い文化が栄えた。
- 問6 鎌倉時代の社会において、女性が「地頭」に任命され、領地を管理する事例が見られた理由を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 女性が仏教の教えに基づいて貧しい人々を救済する役割を担い、幕府からその功績を認められたため。
2. 承久の乱の後に人手不足となり、幕府が緊急措置として女性を地頭に登用する制度を作ったため。
3. 親の所領を女子にも分けて相続させる慣習があり、所領を受け継いだ女性がその土地の地頭職を担ったため。
4. すべての土地を長男一人が継ぐ単独相続が基本であり、男子がいない場合のみ特例として女子が任命されたため。
- 問7 鎌倉時代、将軍と御家人の間には土地を仲立ちとした主従関係がありました。将軍が御家人の領地支配を認めたり、手柄に対して新たな土地を与えたりすることを「御恩」と呼びますが、対して御家人が戦時に軍役を果たしたり、幕府の警護を行ったりする義務を何と呼びますか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 役事 2. 公事 3. 寄進 4. 奉公
- 問8 鎌倉時代に広まった臨済宗などの禅宗が、特に武士階級の間で広く受け入れられた理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 自らの厳しい修行によって悟りを開こうとする教えが、武士の精神修養に適していたため
2. 阿弥陀如来を信じて念仏を唱えるだけで救われるという平易な教えが、忙しい武士に好まれたため
3. 加持祈祷によって現世の利益や国家の安泰を願う儀式が、武家政権の安定に不可欠だったため
4. 南無妙法蓮華経の題目を唱えることで救われるという教えが、団結を重んじる武士の気風に合ったため
- 問9 源頼朝が1185年に守護・地頭を設置する権利を認めさせ、1189年に奥州藤原氏を滅ぼしたことによって達成された、歴史的な意義として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 朝廷から政権を完全に奪取し、天皇に代わって新しい法律を制定した。
2. 平氏を滅ぼした後、軍事・警察権を背景として全国的な支配体制を固めた。
3. 上皇による院政を停止させ、貴族による政治を完全に終了させた。
4. 東北地方の金などの資源を独占し、宋との貿易を拡大させた。
- 問10 1232年、鎌倉幕府の3代執権である北条泰時が、日本で最初の武家法を制定しました。この法令を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 土地をめぐる争いなどに対し、武士の慣習に基づいた公平な裁判の基準を定めるため
2. 聖徳太子が役人の心得を示したように、仏教の教えを政治の基本に据えるため
3. 江戸幕府が全国の大名を統制し、許可なく城を修繕することを禁止するため
4. 足利尊氏が新しい政治の方針を示し、京都の公家社会のルールを武士に強制するため
- 問11 鎌倉時代の御家人の相続について記した記録によると、代を重ねるごとに領地を複数の子に分け与える慣習が続けられていました。このような相続方法が、幕府の支配体制に与えた大きな影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 相続争いを防ぐために幕府がすべての所領を没収したため、御家人は地頭としての権利を失い、公家が再び土地を支配した。
2. 土地の所有権が実力のある庶子に集中したため、惣領を中心とした一族のシステムが崩壊し、農業生産力が向上した。
3. 一族の団結力が強まったことで惣領の権限が拡大し、幕府の統制を受けずに独自の軍事行動をとるようになった。
4. 領地が細分化されたことで個々の御家人の経済力が低下し、幕府への奉仕である軍役を果たすことが困難になった。
- 問12 鎌倉新仏教の一つで、特定の姿勢で座り精神を統一する「座禅」を修行の根幹とし、鎌倉幕府の保護を受けて発展した宗派を次の中から選びなさい。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
1. 禅宗 2. 浄土真宗 3. 浄土宗 4. 日蓮宗
- 問13 平安時代から鎌倉時代初期にかけての出来事である、坂上田村麻呂による東北地方への派遣、平将門による関東での反乱、源頼朝による奥州藤原氏の滅亡を、発生した時期の古い順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 平将門の反乱 → 坂上田村麻呂の派遣 → 源頼朝による奥州藤原氏の滅亡
2. 坂上田村麻呂の派遣 → 源頼朝による奥州藤原氏の滅亡 → 平将門の反乱
3. 源頼朝による奥州藤原氏の滅亡 → 平将門の反乱 → 坂上田村麻呂の派遣
4. 坂上田村麻呂の派遣 → 平将門の反乱 → 源頼朝による奥州藤原氏の滅亡

答え合わせ・解説

問1	答え 1 承久の乱	鎌倉幕府の3代将軍・源実朝が暗殺された後の混乱を機に、後鳥羽上皇が執権の北条義時を討つよう命じて起こした反乱です。幕府軍が勝利した結果、朝廷を監視するために六波羅探題が設置され、幕府の支配力が西日本にも強く及ぶようになりました。応仁の乱は室町時代に起こった戦いです。
問2	答え 4 執権	源頼朝の死後、幕府の実権は頼朝の妻である北条政子の実家、北条氏へと移りました。北条氏は「執権」という役職に就き、形式的な将軍を支えながら、事実上の幕府の最高責任者として政治を動かしました。管領は室町幕府で将軍を補佐する職名であり、連署は執権の補佐役、六波羅探題は朝廷の監視などを行う地方官職です。
問3	答え 3 御恩と奉公	鎌倉幕府の体制を支えた基本的な主従関係を指します。将軍が御家人に与える土地に関連した恩恵を「御恩」、御家人が将軍に対して果たす軍役などの義務を「奉公」と呼び、土地を媒介として結びついていました。この関係が崩れることが、後の幕府滅亡の大きな要因となりました。
問4	答え 3 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵を挙げたが、北条政子の呼びかけに団結した御家人らの大軍によって幕府側が勝利した。	朝廷の権力を取り戻そうとした後鳥羽上皇は、北条氏を中心とする幕府に対して討伐の命令を下しました。これに対し、源頼朝の妻であった北条政子が「頼朝公の恩は山よりも高く海よりも深い」と御家人たちに訴えて結束させたことが、幕府軍勝利の大きな要因となりました。
問5	答え 4 大陸ではモンゴル帝国が勢力を拡大しており、日本では武士の好みに合った写実的で力強い文化が栄えた。	13世紀前半は、大陸においてチンギス・ハーンがモンゴル帝国を建国し、急速に領土を広げていた時期に当たります。これと同じ時期の日本は鎌倉時代であり、幕府を中心とする武士の勢力が強まったことで、芸術面でも従来の貴族的な繊細さとは異なる、運慶・快慶に代表されるような力強く写実的な文化が発展しました。唐の滅亡は10世紀初頭、宗教改革は16世紀の出来事であるため、時代背景が異なります。
問6	答え 3 親の所領を女子にも分けて相続させる慣習があり、所領を受け継いだ女性がその土地の地頭職を担ったため。	鎌倉時代の武士の間では、女子にも所領を相続させる「分割相続」の仕組みがありました。地頭という職務は土地の管理・支配と密接に結びついていたため、分割相続によって土地を譲り受けた女性は、その土地を治める地頭として幕府から公式に認められることがありました。これは、後の時代のように長男一人が家督と所領を独占する「単独相続」が定着する前の、この時代特有の家族のあり方を示しています。
問7	答え 4 奉公	将軍と御家人の結びつきは、土地を基盤とした双方向の契約関係にありました。将軍から受けた「御恩」に対し、御家人は「いざ鎌倉」という緊急時の軍役や、京都・鎌倉を警備する番役などを通じて義務を果たす必要があり、これを「奉公」と言います。
問8	答え 1 自らの厳しい修行によって悟りを開こうとする教えが、武士の精神修養に適していたため	禅宗は、經典の暗記や複雑な儀式よりも、座禅による実践的な修行を重視しました。自分の力で悟りに到達しようとする厳格な姿勢は、日々命がけで戦いに臨む武士たちの自己規律や精神的な強さを養う手段として高く評価されました。特に北条時頼や北条時宗といった幕府の執権たちが禅僧に帰依し、鎌倉に建長寺や円覚寺などの寺院を建立したことで、武士の間での地位が確立されました。
問9	答え 2 平氏を滅ぼした後、軍事・警察権を背景として全国的な支配体制を固めた。	壇ノ浦の戦いで平氏を滅亡させた後、源頼朝は源義経の追捕を名目に、守護・地頭の設置を朝廷に認めさせました。その後、義経を保護していた奥州藤原氏を1189年に滅ぼしたことで、東北地方までを含む強力な武家政権の基盤が確立されました。これにより、土地の管理や警察権を武士が握る鎌倉幕府の支配体制が全国的なものとなりました。
問10	答え 1 土地をめぐる争いなどに対し、武士の慣習に基づいた公平な裁判の基準を定めるため	承久の乱の後、幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、武士同士や、武士と貴族の間で土地をめぐる紛争が急増しました。北条泰時は、源頼朝以来の先例や武士社会の慣習（道理）をもとに、誰にでも納得できる公平な裁判を行うための基準として御成敗式目（貞永式目）を制定しました。これは武士が自分たちの手で作り上げた最初の体系的な法律です。
問11	答え 4 領地が細分化されたことで個々の御家人の経済力が低下し、幕府への奉仕である軍役を果たすことが困難になった。	鎌倉時代初期の武士社会では、複数の子に所領を分け与える「分割相続」が一般的でしたが、代を重ねるごとに一人が所有する領地が小さくなる「領地の細分化」という問題が発生しました。これにより、御家人は馬や武器を整える経済的な余裕を失い、幕府に対する最も重要な義務である「いざ鎌倉」の際の軍役を十分に遂行できなくなりました。この経済的な衰退が、のちの幕府滅亡へとつながる大きな要因の一つとなりました。
問12	答え 1 禅宗	座禅を組んで悟りを目指す禅宗には、栄西が伝えた臨済宗や、道元が伝えた曹洞宗などがあります。これらは念仏や題目を重視する他の宗派とは異なり、自分自身の内面を鍛える修行を重視しました。特に臨済宗は鎌倉幕府の執権らの支持を受け、後の室町文化にも大きな影響を与えました。
問13	答え 4 坂上田村麻呂の派遣 → 平将門の反乱 → 源頼朝による奥州藤原氏の滅亡	8世紀末から9世紀初めの平安時代初期、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂が征夷大將軍として東北地方へ派遣され、蝦夷（えみし）の抵抗を抑えました。その後、10世紀中ごろの平安時代中期には、地方政治の乱れを背景に関東で平将門が反乱を起こし、武士の力が中央に知れ渡るきっかけとなりました。そして12世紀末、源頼朝が壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼした後、奥州藤原氏を討伐して鎌倉幕府による支配を全国へと広げました。

- 問1 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」ののち、幕府が朝廷の動きを常に監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に設置した機関として正しいものを、次から選びなさい。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|--------|----------|
| 1. 管領 | 2. 六波羅探題 | 3. 大宰府 | 4. 京都所司代 |
|-------|----------|--------|----------|
- 問2 鎌倉時代末期に見られた「悪党」の活動と、その社会的な影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 江戸時代において、読み・書き・そろばんなどの実用的な教育を町人や農民の子弟に提供した。 | 2. 山城国において、国人や農民が協力して守護大名を追い出し、自治による政治を行った。 | 3. 豊臣秀吉による太閤検地を受け入れ、土地の石高に基づいた新しい税制の確立を支援した | 4. 幕府や荘園領主による伝統的な支配に反抗して武力を行使し、幕府の統治力を弱める要因となった。 |
|--|---|---|--|
- 問3 承久の乱の結果、鎌倉幕府が京都に六波羅探題を設置した主な目的と背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 九州地方の防衛を強化し、大陸からの元軍の侵攻に備えるための軍事拠点とするため。 | 2. 朝廷による倒幕の動きを未然に防ぐために監視を行い、西日本における幕府の支配力を強化するため。 | 3. 室町幕府の将軍を補佐し、京都の治安維持や行政を担う管領をサポートするため。 | 4. 全国の地頭が徴収した年貢の管理や、御家人同士の土地争いを裁決する専門の裁判機関とするため。 |
|--|---|--|--|
- 問4 鎌倉時代、地頭が荘園領主に納めるべき年貢を滞納するなど、両者の間で土地をめぐる紛争が激化しました。こうした状況下で、金剛三昧院に伝わる古文書などの記録に見られる、土地そのものを地頭と荘園領主で物理的に分割し、互いの支配権を明確に分けることで解決を図った仕組みを何と呼びますか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|
| 1. 農民の耕作権を保証しつつ年貢を確保する検注 | 2. 武士が土地を仲介して有力な御家人となる本領安堵 | 3. 一定額の年貢納入を請け負わせる地頭請 | 4. 土地を分割して地頭の直接支配を認める下地中分 |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|
- 問5 鎌倉時代後半、元寇（蒙古襲来）による軍役の負担や分割相続の影響で、多くの御家人が生活に困窮しました。幕府がこうした御家人を救済するために、彼らが売却・譲渡した領地を無償で取り戻させることを命じた法令を何といいますか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 徳政令 | 3. 御成敗式目 | 4. 公事方御定書 |
|----------|--------|----------|-----------|
- 問6 モンゴル（元）の襲来を退けたにもかかわらず、その後の鎌倉幕府の支配が急速に揺らぐ原因となった背景として、正しい説明はどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 襲来をきっかけに朝廷が政治の実権を取り戻し、幕府を倒すための兵を挙げたため。 | 2. 防衛に成功したものの、恩賞として与える土地が不足していたため、戦費で困窮した武士の不満が高まった。 | 3. モンゴル軍との戦いを通じて、武士たちが幕府よりも天皇を重視する考えを持つようになったため。 | 4. 幕府が防衛のために重い税を全国の農民に課したこと、大規模な一揆が各地で頻発したため。 |
|---|--|--|---|
- 問7 12世紀末に鎌倉幕府が成立して以降、それまでの天皇や貴族に代わって、土地を基盤とする武士が政治の実権を握って行われた政治形態を何と呼びますか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 武家政治 | 2. 摂関政治 | 3. 律令政治 | 4. 院政 |
|---------|---------|---------|-------|
- 問8 鎌倉幕府が「六波羅探題」という機関を新たに設置した目的と、その背景にある出来事の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. モンゴル帝国の襲来（元寇）に備え、九州沿岸の警備と西国武士の指揮を執るため | 2. 室町幕府の内紛である観応の擾乱を受け、京都の治安維持を専門に行うため | 3. 後鳥羽上皇が倒幕の兵をあげた承久の乱の後、朝廷を監視し西日本の統治を強化するため | 4. 源頼朝が征夷大將軍に任命された際、京都の公家との外交交渉を円滑に進めるため |
|--|---------------------------------------|---|--|
- 問9 1297年に鎌倉幕府が、土地の売買を禁止し、すでに売却された土地を本来の持ち主に無償で返却させるという内容の法令を出しました。元寇後の生活苦に陥った御家人を救済するために出されたこの法令の名称を答えなさい。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 公事方御定書 | 3. 永仁の徳政令 | 4. 慶安の御触書 |
|----------|-----------|-----------|-----------|
- 問10 北条泰時が制定した御成敗式目の中で、諸国の守護に課せられた職務として正しいものはどれですか。当時の条文には、御家人に京都の警備を命じることや、重大犯罪の取り締まりについて記されています。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|---|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 朝廷の政治を監視し、天皇の代替わりを管理する。 | 2. 御家人に京都の警備（京都大番役）を命じ、謀反人や殺害人などを取り締まる。 | 3. 全国の田畑の面積を調査し、農民から納められる年貢の額を決定する。 | 4. 諸大名の参勤交代を監督し、江戸の治安を維持する。 |
|----------------------------|---|-------------------------------------|-----------------------------|
- 問11 江戸時代の社会において、奉公人は主人から衣食住を保障される代わりに、主家のために労働を提供する「奉公」を行いました。この時代の商家の奉公人の形態として、幼少期から住み込みで働き、後に独立を目指す仕組みを表す用語の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2025年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 代官（だいかん）として、天領の年貢徴収や裁判を担当する | 2. 問屋（といや）として、周辺の農村に家内工業の原料を貸し出す | 3. 丁稚（でっち）から始まり、番頭（ばんとう）を経てのれん分けを目指す | 4. 地頭（じとう）の下で、名主（なぬし）として村の運営にあたる |
|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
- 問12 13世紀後半に元軍が日本へ侵攻した際、当時の様子を描いた絵巻物には、日本の武士が苦戦する様子が描写されている。元軍が用いた、当時の日本の武士には見られなかった戦い方の特徴として正しいものはどれか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 名乗りを上げてから一対一で戦う一騎打ちを基本とした戦術 | 2. 太鼓などの合図による集団戦法や、「てつほう」と呼ばれる火器を用いた戦術 | 3. 巨大な軍船を並べて海上に橋を作り、陸路から騎馬隊を突撃させる戦術 | 4. 鉄砲を組織的に利用し、防壁の背後から一斉射撃を行う戦術 |
|--------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------|
- 問13 東大寺南大門に安置されている金剛力士像が制作された背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. 運慶や快慶らが制作し、武士の気風を反映した力強い写実的な表現が特徴である。 | 2. 定朝が制作し、貴族の好みにあわせた優美で繊細な表現が特徴である。 | 3. 鞍作鳥が制作し、中国や朝鮮半島の影響を受けた幾何学的な衣のひだが特徴である。 | 4. 行基が制作し、民衆の安寧を願って作られた素朴な表現が特徴である。 |
|--|-------------------------------------|---|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 六波羅探題	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、乱の再発を防ぐために京都に強力な出先機関を置く必要がありました。それまでの京都守護を改組・強化する形で設置されたのが六波羅探題であり、北条氏の有力者がその職に就いて、朝廷の監視、裁判、西日本の統治という重要な役割を担いました。
問2	答え 4 幕府や荘園領主による伝統的な支配に反抗して武力を行使し、幕府の統治力を弱める要因となった。	鎌倉時代末期、所領をめぐる訴訟の増加や元寇後の社会不安などを背景に、幕府の統制に従わない武士たちが現れました。彼らは荘園領主から年貢を奪うなどの実力行使を行い、幕府がこれらを鎮圧しきれなかったことで、幕府の権威はさらに失墜し、後の倒幕運動へとつながる背景を形成しました。
問3	答え 2 朝廷による倒幕の動きを未然に防ぐために監視を行い、西日本における幕府の支配力を強化するため。	承久の乱において、朝廷軍を破った鎌倉幕府は、二度と同じような反乱が起きないように朝廷を厳しく管理しました。また、乱の後に西日本の貴族や寺社が所有していた領地を没収し、多くの地頭を任命したことで、六波羅探題を通じて西日本全体への幕府の支配力が大きく高まりました。
問4	答え 4 土地を分割して地頭の直接支配を認める下地中分	地頭による年貢の未進（滞納）や不法な土地占拠が続いた際、法的な訴訟だけでは解決できない場合があります。そのため、土地（下地）を折半したり分割したりして、一方は荘園領主、もう一方は地頭が完全に支配するという契約を結ぶ「下地中分」が行われ、結果として地頭の土地支配がさらに公認されることとなりました。
問5	答え 2 徳政令	鎌倉幕府は御家人の生活を支える基盤である領地（土地）を守るため、永仁の徳政令を発令しました。これは借金の担保として手放した土地を無償で返させるという強力な経済救済措置でしたが、結果として金銭の貸し借りが困難になり、社会経済を混乱させる原因にもなりました。
問6	答え 2 防衛に成功したものの、恩賞として与える土地が不足していたため、戦費で困窮した武士の不満が高まった。	当時の武士にとっての恩賞は、主に敵から奪った土地を分配することでした。しかし、元寇は外国からの侵略を退ける防衛戦だったため、新たに分け与える土地がありませんでした。多額の軍費を自己負担して戦った御家人たちは、十分な報いを受けられなかったことで生活が困窮し、幕府への不信感を強めていきました。
問7	答え 1 武家政治	源頼朝が鎌倉幕府を開いたことにより、政治の中心は朝廷から幕府へと移り変わりました。このように武士（武家）が主導権を持って国家を運営する仕組みは、その後の室町幕府や江戸幕府にも継承されていくことになります。
問8	答え 3 後鳥羽上皇が倒幕の兵をあげた承久の乱の後、朝廷を監視し西日本の統治を強化するため	承久の乱以前の幕府は、主に関東を中心とした支配を行っていましたが、乱の勝利によって西日本にも大きな支配力を持つようになりました。朝廷による倒幕の動きを二度と許さないよう、監視の拠点として六波羅探題を設置し、西日本の地頭の統制や裁判も担わせることで、幕府による全国支配が強まるきっかけとなりました。
問9	答え 3 永仁の徳政令	元寇（蒙古襲来）の際に、恩賞が十分に与えられなかったことで困窮した御家人を助けるために発布されました。しかし、この法令により金銭の貸し借りが滞り、かえって御家人の生活が不安定になったほか、幕府の権威が低下する一因となりました。
問10	答え 2 御家人に京都の警備（京都大番役）を命じ、謀反人や殺害人などを取り締まる。	御成敗式目では、守護の権限を「大犯三箇条（だいばんさんかじょう）」と呼ばれる三つの職務に限定しました。具体的には、京都大番役の催促、謀反人の逮捕、殺害人の逮捕です。これは、守護が国司の権限を侵しすぎないように制限し、武士社会の秩序を保つ目的がありました。
問11	答え 3 丁稚（でっち）から始まり、番頭（ばんとう）を経てのれん分けを目指す	江戸時代の商家の奉公人は、子供の頃に「丁稚」として住み込みを始め、成長して実力を認められると「番頭」などの役職に就きました。長年の忠誠と奉公の結果、主人から商号の使用を許されて独立する「のれん分け」が、当時の奉公人にとっての大きな目標となっていました。
問12	答え 2 太鼓などの合図による集団戦法や、「てつはう」と呼ばれる火器を用いた戦術	当時の日本の武士は、一対一の「一騎打ち」を伝統的な戦い方としていました。これに対し、元軍は組織的な「集団戦法」を採用し、さらに火薬を使った「てつはう」という武器で武士や馬を驚かせるなど、日本側にはない新しい戦術で攻撃を行いました。当時の戦場を描いた資料でも、馬に乗る武士の集団に対し、歩兵が密集して戦う元軍の姿が確認できます。
問13	答え 1 運慶や快慶らが制作し、武士の気風を反映した力強い写実的な表現が特徴である。	源平の争乱で焼失した東大寺の復興にあたり、運慶や快慶ら慶派の仏師が起用されました。彼らは、それまでの貴族的な優美さとは対照的に、台頭する武士の好みに合う、筋肉の動きまでリアルに表現した力強い作品を残しました。

- 問1 1232年、鎌倉幕府の3代執権であった北条泰時は、武家社会でそれまで行われていた慣習などをまとめ、日本で最初となる武士のための法律を制定しました。この法律の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
- 禁中並公家諸法度
 - 御成敗式目（貞永式目）
 - 公事方御定書
 - 武家諸法度
- 問2 鎌倉時代の政治体制において、北条泰時が御成敗式目を制定した目的やその内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
- 朝廷が定めた律令制度をより厳格に守らせ、貴族と武士の身分を明確にするため。
 - 江戸幕府が開かれた際に、大名を統制するために出された領地管理の法を参考にするため。
 - 元の襲来に備えて、御家人たちの団結を強めるための軍事的な規則を定めるため。
 - 武士社会でそれまで行われてきた慣習を整理し、公平な裁判の基準を示すため。
- 問3 マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』の中で、日本を「黄金の国ジパング」として紹介したことが後の歴史に与えた影響について、最も適切な説明はどれですか。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
- 日本がキリスト教の布教拠点として、ヨーロッパで広く認知される理由となった。
 - ポルトガルが日本を占領するために、即座に軍隊を派遣する直接の原因となった。
 - コロンブスが大西洋を渡って東洋を目指す際の大きな動機となった。
 - 当時の元の皇帝フビライ・ハンが、日本への軍事遠征（元寇）を決定する最大の根拠となった。
- 問4 鎌倉時代に東大寺の南大門に安置された、筋肉の動きを写実的に捉えた力強い表現が特徴の仏像の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。なお、この像は運慶や快慶らによって制作されたことで知られています。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
- 金剛力士像
 - 釈迦如来像
 - 弥勒菩薩像
 - 阿弥陀如来像
- 問5 鎌倉幕府が発令した「永仁の徳政令」が、その後の社会に与えた影響について述べたものとして正しいものはどれですか。（2025年 茨城県公立入試 類似）
- 農民の不満が解消されて大規模な一揆が収まり、幕府による地方支配がこれまで以上に安定した。
 - 全国の港で貿易が活発になり、宋銭に代わって幕府が新しく発行した独自の貨幣が広く流通するようになった。
 - 御家人の地位が飛躍的に向上し、北条氏による執権政治が終わりを迎え、将軍が直接政治を行う体制が復活した。
 - 貸し借りの契約が無効になると恐れた金貸したちが、武士への融資を拒むようになり、かえって武士の生活が混乱した。
- 問6 1232年に北条泰時が制定した御成敗式目について、この法律が制定された目的と内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- 御家人たちの領地をめぐる争いを、武士社会の慣習などに基づいて公平に裁判するため
 - 律令を強化し、朝廷の公家や寺社が持つ特権を武士にも等しく与えるため
 - 鎌倉幕府の将軍による独裁体制を確立し、執権の権限を制限するため
 - 生活に困窮した武士を救済するため、売却された領地を無償で取り戻す権利を認めるため
- 問7 鎌倉幕府の中央機関のうち、財政や一般政務を担った組織と、御家人の領地争いなどの裁判事務を専門に扱った組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
- 問注所と侍所
 - 執権と問注所
 - 政所と問注所
 - 侍所と政所
- 問8 北条時宗が第8代執権を務めていた時代、モンゴル帝国（元）の日本侵攻に対する幕府の対応やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2016年 秋田県公立入試 類似）
- 執権として御成敗式目を制定し、モンゴル帝国との戦いにおける武士の恩賞の基準を明確にした
 - 執権として六波羅探題を新たに設置し、朝廷の監視とあわせて西国の防衛にあたらせた
 - 執権として日宋貿易を積極的に推進することで、モンゴル帝国を経済的に圧迫する政策をとった
 - 執権として九州の御家人を動員し、異国警固番役を組織して海岸線の防衛を強化した
- 問9 11世紀末から約200年にわたって行われた、キリスト教の聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還することを目的とした軍隊の派遣について、この遠征のきっかけとなる呼びかけを行った人物として正しいものを選びなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
- ビザンツ皇帝
 - フランス王
 - 神聖ローマ皇帝
 - ローマ教皇
- 問10 鎌倉幕府が元寇の後に「徳政令」を発令せざるを得なくなった背景と、その影響について述べた文として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- 防衛戦であったために獲得した土地が少なく、十分な恩賞を与えられなかったことで困窮した御家人の不満を鎮めるために出されたが、経済を混乱させた。
 - 承久の乱の後に没収した上皇方の所領を御家人に公平に分配するため、北条泰時が武士独自の慣習に基づいて裁判の基準とともに制定した。
 - 分割相続の繰り返しの結果として領地が細分化した御家人たちの土地を統合し、一族の団結力を高めて元軍の再来に備えるために強制的に行われた。
 - 元寇による軍費を調達するために、全国の農民から一時的に税を免除する代わりに土地の所有権を幕府に返上させる目的で実施された。
- 問11 鎌倉時代に制定された御成敗式目（貞永式目）の背景とその特徴について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
- 守護の権限を大幅に拡大し、全国の荘園の年貢をすべて徴収できるようにするために作られた。
 - 承久の乱のあと、武士の勢力が広がる中で急増した領地争いを、公平に裁く基準として作られた。
 - 徳川家康が豊臣氏を滅ぼしたあと、全国の名を統制する目的で作られた。
 - 朝廷の律令をそのまま武士に適用させ、貴族社会と同じ基準で裁判を行うために作られた。
- 問12 源頼朝が朝廷から「征夷大將軍」に任命されたことの政治的な意義について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
- 武家政権の長として、全国の武士を統率し、軍事・警察権を行使する正統性を認められた。
 - 平氏と同じように、天皇の外戚として朝廷の最高職である太政大臣になり、政治を行う権利を得た。
 - 朝廷を廃止し、鎌倉に新しく天皇を移して、独自の律令制度を全国に広める権限を得た。
 - 天皇に代わって政治のすべてを行う摂政や関白となり、貴族を中心とした政治を継続した。
- 問13 日本の歴史区分において、平安時代の後に続き、鎌倉時代から室町時代（戦国時代を含む）までを指す区分として、最も適切な名称は何ですか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
- 近世
 - 近代
 - 中世
 - 古代

答え合わせ・解説

問1	答え 2 御成敗式目（貞永式目）	北条泰時が制定した御成敗式目は、それまでの先例や武家社会の慣習（道理）を基準としてまとめられました。これは、御家人同士の領地をめぐる争いを公正に裁くための裁判の基準を示すことを目的としていました。江戸時代の大名を統制するための武家諸法度や、裁判の基準をまとめた公事方御定書と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 4 武士社会でそれまで行われてきた慣習を整理し、公平な裁判の基準を示すため。	北条泰時は、武士が理解しやすいように、それまでの武家社会の先例や道徳に基づいた内容を法制化しました。これにより、主従関係や土地の権利に関する争いを公平に解決し、幕府に対する御家人の信頼を高める狙いがありました。のちの室町・戦国時代の法にも大きな影響を与えています。
問3	答え 3 コロンブスが大西洋を渡って東洋を目指す際の大きな動機となった。	「ジバングの王宮は金で覆われている」といった記述は、ヨーロッパの人々の間に東洋の富に対する強い憧れを植え付けました。特にコロンブスはこの内容を信じて日本や中国を目指し、結果としてアメリカ大陸に到達するなど、大航海時代を切り拓く原動力の一つとなりました。
問4	答え 1 金剛力士像	鎌倉時代は武士が台頭した時代であり、その力強さを反映した写実的な文化が栄えました。東大寺南大門にあるこの像は、運慶や快慶を中心とする仏師集団「慶派」によって制作され、当時の躍動感あふれる作風を象徴しています。選択肢にある阿弥陀如来像は、平安時代に流行した極楽浄土への信仰に基づいた、穏やかな表情の像として対比されることが多いものです。
問5	答え 4 貸し借りの契約が無効になると恐れた金貸したちが、武士への融資を拒むようになり、かえって武士の生活が混乱した。	徳政令によって借金が帳消しにされたことは、金を貸していた「借上（かしあげ）」などの業者にとっては大きな損失となりました。その結果、業者は再び徳政令が出されることを警戒して御家人への融資を拒むようになり、現金が必要な御家人は資金を借りられなくなってさらに窮乏しました。このように、法令は一時的な救済にはなりましたが、経済の仕組みを混乱させ、幕府に対する武士たちの信頼を失わせる原因の一つとなりました。
問6	答え 1 御家人たちの領地をめぐる争いを、武士社会の慣習などに基づいて公平に裁判するため	承久の乱の後、地頭の補任が増えたことで、貴族や寺社と武士との間で領地をめぐる紛争が急増しました。これに対し、執権の北条泰時は、道理やそれまでの武士社会の慣習を基準とした明確な裁判の基準を示すことで、不公平な判決をなくし、武士たちの不満を解消しようとした。当初は借金の帳消し（徳政）などを目的としたものではありません。
問7	答え 3 政所と問注所	鎌倉幕府には、役割に応じた3つの主要な中央機関がありました。政所は当初、公文所と呼ばれ、幕府の財政や一般的な政治事務を司りました。一方、武士の間で深刻化していた領地争い（所領訴訟）を公平に解決するために設置されたのが、裁判実務を行う問注所です。侍所は軍事・警察組織であるため、それぞれの役割の違いを整理しておくことが重要です。
問8	答え 4 執権として九州の御家人を動員し、異国警固番役を組織して海岸線の防衛を強化した	フビライ・ハン率いるモンゴル帝国（元）の脅威に対し、北条時宗は執権として強力なリーダーシップを発揮しました。御家人に対して九州沿岸の警備を義務付ける「異国警固番役」を課し、さらに博多湾沿岸に「石築地（防塁）」を築かせるなど、軍事的な防衛体制を整えることで元寇に立ち向かいました。
問9	答え 4 ローマ教皇	聖地エルサレムがイスラム教勢力のセルジューク朝に占領されたことを受け、1095年のクレルモン公会議においてローマ教皇がキリスト教諸国の騎士や貴族に遠征を呼びかけました。この軍隊は「十字軍」と呼ばれ、西ヨーロッパの社会構造やその後の歴史に多大な影響を与えることとなりました。
問10	答え 1 防衛戦であったために獲得した土地が少なく、十分な恩賞を与えられなかったことで困窮した御家人の不満を鎮めるために出されたが、経済を混乱させた。	元寇での戦功に対する恩賞不足に加え、貨幣経済の浸透や分割相続によって御家人の経済状況は悪化していました。幕府は借金の帳消しや領地の返却を命じる徳政令で救済を試みましたが、これにより金銭の貸し借り（金融）が停滞し、かえって経済が混乱して幕府への信頼を失墜させる原因の一つとなりました。
問11	答え 2 承久の乱のあと、武士の勢力が広がる中で急増した領地争いを、公平に裁く基準として作られた。	承久の乱によって幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地で武士と荘園領主、あるいは武士同士の土地トラブルが急増しました。北条泰時は、武士に馴染みの薄い朝廷の律令ではなく、武士独自の慣習を明文化することで、誰もが納得できる公平な裁判を行おうとしました。これがのちの武家法の規範となりました。
問12	答え 1 武家政権の長として、全国の武士を統率し、軍事・警察権を行使する正統性を認められた。	征夷大將軍はもともと軍事指揮官の役職でしたが、頼朝がこれに任じられたことで、朝廷から「武士の頂点」として全国を統治する公的な認めを得ることになり、武家による政治体制が強化されました。
問13	答え 3 中世	日本の歴史では、一般に鎌倉幕府の成立から室町幕府の滅亡までを中世と呼びます。平安時代までを「古代」、織田信長や豊臣秀吉が登場する安土桃山時代から江戸時代までを「近世」と呼び、社会の仕組みや支配層の違いによって区別されています。